



秋田県五城目町

# みんなの町議会



## 目次

- 3月定例会の経過…………… 2
- 第1回臨時会…………… 3
- 常任委員会の焦点…………… 4～5
- 一般質問に5人登壇…………… 6～11
- 陳情・全員協議会…………… 12
- あれ なんと なった べが…………… 13
- 楽しんでます・がんばってます…………… 14

No. 134

2018年5月1日

にぎわう朝市plus+



# 平成30年度一般会計

当初  
予算

# 52億 1,100万円

【前年度比】 1.4%増

# 3月 定例会

## 議会の経過

3月定例会は3月5日から12日までの8日間の日程で開かれた。

初日、渡邊町長は施政説明で「平成30年度一般会計当初予算は町民の安心安全のための施設・設備の充実を図りながら、五城目小学校改築事業を着実に推進する予算を編成した。」

また、五城目町創生総合戦略の計画策定時目標に対する現在の状況は、新規雇用者数は40人に対して13人、新規起業家数は10人に対して11人、移住世帯数は25世帯に対して14世帯、第2子以降出生数は25人に対して19人となっており、その達成は概ね順調である」と述べた。

2日目の一般質問には5名が登壇。消防本部の広域化、小学校改築事業、地区公民館の今後の運営、空き屋対策、冬道における歩行者の安全対策などの質問をした。

3日目は当局より「平成30年度一般会計予算案・特別会計予算案1件を可決し閉会した。」



消防団員関連議案を全会一致で否決

算案、五城目町過疎地域自立促進計画の変更案」など28件の議案が上程され、各常任委員会で審査した。

最終日は「五城目町消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例の一部を改正する条例制定案」について、全会一致で否決し、残る27議案は全会一致で可決した。

また、陳情1件を採択、1件を継続審査とし、委員会提出議案1件を可決し閉会した。

## 平成30年度の主な予算

- 防災行政無線整備事業 2億円
- クリーンセンター解体工事 6,414万円
- 消防ポンプ車購入 3,703万円
- 五城目小学校改築事業設計委託料 5,130万円
- 湖東厚生病院運営費補助金 6,576万円
- 社会福祉協議会補助金 2,701万円
- 八郎湖周辺清掃業務組合負担金 8,449万円
- ゴミ収集運搬委託料 4,600万円
- 多面的機能支払交付金 5,522万円
- 道路除雪委託料 3,000万円
- 地方道路整備事業 5,500万円
- 単独道路整備事業 3,500万円

(石井 光雅)

# 第1回 臨時会 4月3日

議会の構成が変わった。  
議会運営委員会・各常任委員会・議会広報編集委員会の構成を決め閉会した。

議長・副議長は慣例をやめ、地方自治法「103条の2 議長・及び副議長」の任期は議員の任期による」とおり4年任期とした。

## 議会運営委員会

- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会に関する事項
- 議案（条例、予算、契約）及び請願、陳情に関する事項
- 議長の諮問に関する事項
- その他、議会運営に関する事項

委員長 石川 交三  
副委員長 佐々木 仁茂  
委員 荒川 滋  
委員 椎名 志保  
委員 佐藤 彦隆  
委員 館岡 隆

## 総務産業常任委員会

- 総務課、まちづくり課、税務課及び出納室の所管に関する事項
- 選挙管理委員会の所管に関する事項
- 議会事務局及び監査委員の所管に関する事項
- 農林振興課、商工振興課及び建設課の所管に関する事項
- 農業委員会の所管に関する事項

- 右記に関する条例及び工事に関する事務の調査及び議案、請願、陳情などに関する事項
- 他の常任委員会の所管に属さない事項

委員長 館岡 隆  
副委員長 荒川 滋  
委員 小林 正志  
委員 佐々木 仁茂  
委員 畑澤 洋子  
委員 石井 光雅  
委員 千田 峯夫

## 教育民生常任委員会

- 教育委員会の所管に関する事項
- 住民生活課及び健康福祉課の所管に関する事項
- 消防本部の所管に関する事項
- 右記に関する条例及び工事に関する事務の調査及び議案、請願、陳情などに関する事項

委員長 佐藤 彦  
副委員長 椎名 志保  
委員 斎藤 晋  
委員 伊藤 正春  
委員 佐藤 重信  
委員 荒川 正己  
委員 石川 交三

## 議会広報編集委員会

- 住民と議会との意思疎通を図り、相互の信頼を培う。
- 町民にとって分かりやすく親しみやすい広報づくりに徹する。

委員長 畑澤 洋子  
副委員長 石井 光雅  
委員 荒川 滋  
委員 椎名 志保  
委員 佐藤 彦隆  
委員 斎藤 晋  
委員 佐々木 仁茂



(畑澤 洋子)

# 総務産業 常任委員会

## 町中心部循環型バスの 実証運行へ



循環型コミュニティバスの実証運行で利便性向上が期待される

五城目町地域公共交通協議会では中心市街地を循環するコミュニティバスの実証運行を予定している。

五城目バスターミナル～秋田銀行前～五城目小学校入口交差点～役場～イオン～五城目高校～湖東厚生病院～役場～五城目バスターミナル（一周6.3km）を巡るコースで、一日4便、期間は平成30年10月から一年間。乗り放題で料金は一日300円。

中心市街地における新たな交通モードの導入により、通院・買い物・来訪者の利便性アップが期待される。

## 広ヶ野橋補修工事で長寿命化



完成から48年経過し老朽化が進む広ヶ野橋

社会資本整備総合交付金事業により、五城目外環状道路（広域農道）舗装工事と、広ヶ野橋補修工事が行われる。

広ヶ野橋は完成から48年が経過し老朽化が進んでいる。平成30・31年度の2ヶ年計画で補修工事を行い長寿命化を図る。

現在町が管理する橋梁は110橋ある。

## 営農支援で 農機購入へ補助

中山間資源を活かす生産体制整備事業補助金として、農業法人向けに「枝豆マルチ同時播種機」、畜産農家には「専用草刈機デスクモア」の購入費が補助される。

補助率は共に県1/2・町1/12で今後の営農継続へ大きな支援となる。



有効活用が期待される枝豆マルチ同時播種機

（荒川 滋）



# 教育民生 常任委員会

## 消防団員に係る条例制定案 全会一致で否決



若い世代の消防団加入推進を

『五城目町消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例の一部を改正する条例制定案』（消防団員の定数を230人から205人に削減、機能別消防団員制度の導入、階級により給与を10（28%引き上げ）は、全会一致で否決された。

委員からは「機能別消防団の役割が条例の文面上で不明確」「団員の待遇改善と機能別消防団の導入に異議はないが、報酬が上に厚く下に薄い」「消防団の再編は一刻を争う。条例改正案を見直し、再編案とセットで早期に提案してほしい」などの意見が出された。

全国的に消防団員の減少が問題となっているなか、地域防災力が低下することのないよう町独自の取り組みが求められている。

## クリーンセンターの 役目が終わる

平成30年4月より、し尿・浄化槽汚泥の処理を八郎潟・井川町衛生処理施設組合に委託し、湖水苑での受け入れが始まる。

今後の大幅な経費の削減が見込まれる。

長年の懸案事項がようやく解決した。

クリーンセンターは今年度、解体工事が行われる。



改修により本町の受け入れが可能に

(椎名 志保)



夢あふれる学び舎に

## 小学校建設はゆとりある敷地に

小学校建設にあたり、「職員駐車場として雀館公園駐車場を利用するのは、行政財産の目的外使用にあたるのではないか」との意見があり、町長の出席を求めた。

町長からは「ゆとりのある敷地が必要であると考えている。職員駐車場の確保や敷地の拡張については、実施設計の段階で検討することも一つの方法と考えている」と答弁があった。

29年度中に地質調査と埋蔵文化財の試掘調査は実施済み。30年度に実施設計と用地造成を予定。31年度に国に補助申請をし、内示後に校舎と体育館の工事に着手。32年度中の完成を目指すとしている。

# 一般質問

## 5議員が登壇 ただ 22項目を質す

### 一般質問とは？

一般質問は、年4回（3、6、9、12月）の町議会定例会において行われます。

議案とは関係なく、町政全般にわたって議員主導による政策論議であり、通告性が採用されています。

一般質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

\*五城目町議会では、質問者1人につき持ち時間は60分（質問・答弁含む）となっています。

### 質問者

#### 荒川 滋 議員

- 五城目小学校改築事業について
- 本格的な降雪期を終えた除雪について
- 消防本部広域化に対する当町の考え
- 平成30年度一般会計当初予算の重点は
- 産前産後家事代行支援体制について

#### 椎名 志保 議員

- 介護保険料の町民負担について。その対策は
- 五城目小学校改築事業について
- 道の駅 悠紀の国五城目の今後の運営について
- 住家への豪雨被害防止対策は

#### 佐藤 慶彦 議員

- まちづくりに関して
- 空き家対策の推進を
- 町のハラスメント対策について
- 地区公民館の今後の運営のあり方について
- 小学校改築事業と教育の充実策について

#### 斎藤 晋 議員

- 高齢化について
- 雪について、歩行者の安全について
- 小学校建設について
- プロポーザル方式による業者選定及び指定管理の委託業者選定について

#### 畑澤 洋子 議員

- 女性が輝き活躍できる町へ
- 住民に迷惑な空き家の対策
- 安全に書籍を楽しむために書籍消毒器を
- 介護予防はつらつポイントの内容の拡大を

\*誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

あなたにかわって  
聞きました

## 一般質問

# 小学校敷地面積に 対する町の見解は

教育長 8,700㎡は学校建設には十分な広さ



雀館公園内の五城目小学校建設地



荒川 滋

**荒川** スクールトークで小学校敷地の狭さを訴える指摘が多く出た。町の見解は。  
**教育長** 8,700㎡の敷地は学校建設には十分な広さと考えられる。建築面積3,500㎡、延べ床面積7,000㎡。引き続き用地周辺の敷地を効率的効果的に活用できるように検討していく。

**荒川** 都市公園面積の関係で難しいと言われた相撲場敷地利用の可能性はないのか。

**教育長** 利用しなくても校舎を建設できると判断した。学校前庭が無いとの指摘もあるが相撲場敷地には緑地、文化財があり社会教育施設と学校のミックスゾーンとしての利用を考えている。

**荒川** 地域との連携の目玉は何か。だから雀館なのだという明確なもの。

**教育長** 公共施設と学校が地域の人たちによってつながること子どもたちを見守り育てていく学校づくりが可能となり、これまで以上に質の高い教育活動や地域連携強化が図られる。

例えば、わらしべ塾の平日開催、学童保育などとの連携、クラブ活動の茶道、野外観察、温水プール、スポーツの広域体育館・多目的広場利用など、公共施設のさらなる利用が図られる。メディア棟一階には地域図書室を設置する計画で、子供と地域が響き合う教育が出来るようになる。

## 消防本部広域化は 考えていないか

**荒川** 町単独で消防本部を維持しているのが東北で当町のみということをどう思う。

**町長** 広域化を図り経費の節減と設備などの充実を進めるのが理想だが、その可能性を見いだせない状況での単独設置はやむを得ない。広域化にできない町独自のきめ細かな対応ができる単独設置の利点である。



東北で唯一町単独の消防本部

**荒川** 総務省消防庁から広域化推進指示が出されている。今後も単独でいくのか。広域化は考えていないか。また広域化と単独の場合の財政負担は。

**町長** 平成25年10月の広域化協議会凍結以降、協議再開の条件は整っていない。協議会が再開されない限り単独ということになる。再開された際には、消防力が低下しないことを前提条件として協議に参加したい。

## 産前産後の家事 代行支援ははじめ 町の姿勢はこれで いいのか

**荒川** 産後の家事に困り役場に相談した方への町窓口の答えは「分かりません。」その後、社会福祉協議会に相談し解決した。定住対策、子育て支援を総合的に推進しようとしている町はこれでいいのか。

**町長** 課内の情報共有・連携不足により迷惑をおかけした。当町の場合、高齢者向けの家事代行介護サービスをする事業所があるが、産前産後の家事代行については調査が必要。シルバー人材センターで可能な限り対応している。



# 一般質問

# 介護保険料引き上げ 今後の対策は

## 町長 給付費の抑制・適正化に努める



椎名 志保

**椎名** 第7期介護計画案で示された、保険料基準月額8,400円は、町民に大きな負担を強いものである。今後これ以上の負担とならぬよう、早急な対策が必要ではないか。

**町長** 高齢者の健康づくりや疾病対策の推進、生活環境の整備、介護予防や介護サービスの提供を適切に実施し、介護給付費の抑制・適正化を図っていく。

**椎名** 在宅での医療・介護の推進が急がれるが、地域の総合病院をはじめ、地元の医院との連携はどのように行われているか。

**町長** 五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村の4町村合同で湖東厚生病院に連携を依頼し、4月から正式に連携が図られる見通しとなった。

**椎名** 今後の医療・介護を支

える若い世代の定住対策も必要と思うがどうか。

**町長** 地方創生総合戦略の中で取り組んでいくところであり、今後も努力していく。

### 小学校建設敷地内相撲場存続の経緯は

**教育長** 当初から相撲場敷地を利用しなくても学校建設は可能であると、計画を進めて来た。緑地帯を前庭に代わるものとし、子どもたちの遊べる場所や地域の人たちと触れ合える場所にした。

町相撲協会からは、移設や新設を考慮してもらえればあり



有効活用が望まれる相撲場

がたいと言われている。

**椎名** 相撲場を残しながら、児童が思い切り走り回れる校庭となり得るのか。

**教育長** 周辺環境や施設を広く考え、解決策を検討していく。現在よりも優れた環境を子どもたちに提供できると思っている。

### 悠紀の国五城目の今後の運営は

**椎名** 4月より指定管理者となる(株)秋田東北ダイケンからは、どのような説明を受けているか。

**町長** これまで勤務していた従業員、納入生産者は引き続き方針とのことである。



今後の集客が期待される道の駅

直売所は、四季を通じて売り場に変化を持たせ、オリジナル商品の開発や、「県内外道の駅交流センター」新設に取り組む。

食堂は、五城目名物だまこ鍋や山菜料理をはじめ、いぶりがっこや秋田味噌を使用したオリジナルティあふれるメニューを提供していくと説明を受けている。

**椎名** 地元の農産物を販売することに、関係部署がもっと積極的に関わっていくべきで

はないか。

**町長** 限られた生産者に対し、町が積極的に関わっていくのは公平性の観点から、慎重に協議・検討していく。

**椎名** 町の情報発信の場、観光拠点、道路利用者の避難場所として、もっと整備が必要ではないか。

**町長** 地域情報の発信拠点として、観光情報を提供できるコーナーを設け、従業員のスキルアップも図り、来場者に対応していく。

また、災害時における初期対応ができるよう、今後協議していく。



# 一般質問

## 地域活性化支援センター 次のステージへ

### 町長 31年度からの指定管理を進める



佐藤 慶彦

**佐藤** 地域活性化支援センター（以下、支援センター）の今後の運営の見通しは、指定管理など民間団体へ運営を任せることで、視察受け入れ対応など担当課職員の負担も減り、視察の有料化も出来る。地域の活性化とは住民が自発的に盛り上がることであり、いつまでも行政頼りではない、入居企業などを軸として自立する時が来た。

**町長** 平成31年度からの移行に向けて事務手続きを進めた。

支援センターの基本的な考え方は28年8月策定の地域再生計画の中で、「コスト削減と収入増加を図り、将来的には民間企業などに運営を委ね、起業家の移住促進の拠点施設として継続させること」で、

若者の移住や定住、人口減少に歯止めをかけることにつながっていくこと」としている。指定管理者による管理は、入居企業が主体となる法人などに行わせることも考えられる。今後指定管理者の公募に向けて事務手続きを進める方向で検討していく。

### 思い切った 中小企業支援で 雇用の拡充を

**佐藤** 支援センターをビジネス支援センターにするなど雇用につながる思い切った中小企業支援も必要だ。またエフビズのように、1,000万超の報酬でセンター長の全国公募するなど人材への投資も必要だ。

**まちづくり課長** 施設の維持管理と利用促進の二つを基準にしなが、今後指定管理を考えていきたい。また「ドチャベンジャーズ」という新たな組織との連携など、これから慎重に検討していきたい。

\*エフビズ  
静岡県富士市で行っているコンサルティングを中心とした中小企業支援。お金をかけずに売上アップを実現するサポートを行い、伴走型の個別支援で大きな成果をあげている。

### 企業立地推進基金 の有効活用を

**町長** 秋田末広繊維工業株が廃業することなど雇用環境は大変厳しい状況にあり、基金を活用した企業誘致活動や雇



雇用拡充の支援を

用創出支援の必要性を強く感じているところである。必要な時に必要な支援が実施できるよう、そのケースにあわせて準備はしておきたいと考えている。

### 新小学校、 利用しやすい地域 図書室に

**佐藤** 図書館などの地域開放部分の開館時間は住民の利用しやすい時間の設定が必要だ。またWi-Fiの整備を。

**教育長** 地域図書室の開館時間は、仕事が終わってから利用する方もいると思われ、夜の時間帯や土日祭日の開館時間について十分検討したい。またWi-Fiの整備についても検討していく。

**佐藤** 生涯学習課管理か外部への業務委託の検討もすべきだ。

**教育長** 業務管理については、地域図書室という観点から、外部への委託が可能かどうかも含め協議をしていきたい。

# 一般質問

## 買い物弱者対策・高齢者対策は

### 町長 県の戦略と連携し、安心して暮らせる地域社会を目指す



齋藤 晋

#### 仕事があっても働く人(若者)が少ない

**齋藤** 人口減少により、働き手が少なくなり、仕事があっても働く人が足りなくなる時代が来る。町の対応策は。

**町長** 人口減少により働き手が不足する事態により、企業の事業活動にも影響が出る。対策として高齢者の方々からの協力を得る事も対策の一つと思われる。高齢者の能力や技能を生かしたコミュニティビジネスの立ち上げなどが考えられる。又、産業人材を確保するため、シニアなどの多様な人材が働きやすい職場環境に関する情報収集を行ってみたい。

#### 高齢者は困っています

**齋藤** 商店が少なくなり、車が無い高齢者は、買い物も出来ない。又、左官業・水道工事業者・電気店などの減少で、修理を依頼してもすぐに対応してもらえないケースが増えている。町として対応策はあるか。

**町長** 人口減少が深刻化する中で、買い物やちよつとした修理など生活に必要なサービスを維持させる体制を整備する事に特化した施策は展開していない。しかし、町としても、県の戦略(第3期ふるさと秋田元気創造プラン)と連携し安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。

\* 買い物弱者対策として、中心市街地循環型コミュニティバスの実証実験を行う。  
\* 行政が団体の取り組みを計画段階から支援するまちづくり活動チャレンジ支援事業を展開する。

#### 小学校建設ワークショップはガス抜きのため

**齋藤** 参加者から「町民の意見は反映されると思って参加したが、単にガス抜きのために開催されたのでは」との声が多く聞かれたが。

**教育長** 様々な声があったことは認識しており、要望について反映できることは反映するように努めている。ワークショップの目的はハード・ソフトを含めて、広く小学校の未来を語るものであり、実施や運営には課題もあり、十分に検討し今後の報告会などにつなげていく事が重要と考える。



朝市で買い物する老人



新小学校のイメージ図

その他に  
○ 除雪費、排雪費について  
○ 除雪の苦情件数などについて  
○ 歩道除雪と安全対策について  
○ 小学校建設設計業者選定のプロポーザル方式守秘義務について  
○ 指定管理の委託業者選定守秘義務について  
を質問しました。



# 一般質問

## 図書室に書籍消毒器の設置を

### 教育長「地域図書室」に導入を検討



畑澤 洋子  
(公明党)

**畑澤** 書籍に挟まった髪の毛・フケ・ダニなどは、アレルギー体質のぜんそく発作の原因になる。昨今、様々な感染症が流行するようになり気にする人が多くなった。気にする人も気にしない人も安心できる書籍消毒器を図書室に設置してはどうか。

**教育長** 現在は町民センター図書室では、本返却時、状態確認・除菌スプレーによる消毒で衛生管理に努めている。新小学校と併設予定の地域図書室で導入を検討する。

### 介護予防はつらつポイントの内容の拡大を

**畑澤** 県は「健康寿命、日本一」を目指す一環としてポイント制度を全県に拡大する。検診やスポーツ、ラジオ体操などでポイントが付くなど、全国では様々な取り組みがある。当町でも柔軟な発想で健康寿命を延ばす内容を加えてはどうか。

**町長** 「自らの健康は自らがつくる」という意識を持つきっかけづくりとして「はつらつポイント制度」を拡充・拡大する形で一体的な取り組みが可能か検討している。

### 女性が輝き活躍できる町へ

**畑澤** 五城目町男女共同参画計画は第3次推進期間中の最終年を迎える。企業や住民への啓発の方法は、役場内での意識改革は。セクハラ・パワハラはないか。将来のキャリアを高める研修等に参加させているか。

**町長** 人権困りごと相談告知、男女共同参画センターのポスター紹介を行っている。男女イキイキ職場宣言事業所



所有者不明の空事務所

### 住民に迷惑な空き家対策

の登録は町内2事業所。役場内の意識改革は十分浸透した。明らかなセクハラ・パワハラ的事例はない。職員研修は、初任者研修、3年目研修、主任級研修、課長補佐級研修を全職員が受講する。他に希望する研修は受講できる。今後実施する。

**畑澤** 空き家問題は近隣の皆様に我慢を強いてやり過ぎしているのが現状。所有者不明の空き家の総数と苦情がある戸数は、「朽ち果てるのを待つ」町の姿勢は、これでよいのか。主要通学路にある空き事務所は、所有者がいない。今後どうするのか。

**町長** 持ち主不明の空き家は、総戸数309戸の中の26戸。苦情が寄せられている空き家は3戸である。空き家の増加と老朽化は避けられない。国・県に制度や法律の早急な整備を要望していく。

# 陳情

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

採択し、意見書を提出しました

## 採択

◆最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書

秋田県春闘共闘懇談会

代表 渋谷 一

秋田県労働組合総連合

議長 三浦 宣人

継続すべきものとなりました

## 継続審査

◆ミツバチの大量死や子どもへの発達障害の一因となる農産物検査法と植物防疫法、JAS法の抜本的見直しが必要とする陳情書

生き物共生農業を進める会

今野 茂樹

◎総務産業常任委員会において、生産農家の不安解消が見直しの大前提との意見から全会一致で継続すべきものと決し、本会議においても全会一致継続すべきものと決しました

(齋藤 晋)

# 議会議員全員協議会

平成30年1月19日

## 協議案件

①財産（土地・建物）の使用料について

## 報告案件

①五城目町第7期介護保険事業計画について



小学校建設予定地

②五城目小学校改築事業について  
③南秋地域公共交通網形成（骨子案）について

④秋田県市町村未来づくり協働プログラム「五城目町プロジェクト」における事後評価について

平成30年2月19日

## 協議案件

①五城目町消防団の再編について  
②五城目小学校改築事業について  
③五城目町介護保険事業計画（第7期計画）について

④五城目町条例の改正について  
⑤馬場目岳周辺自然ふれあい施設盆城庵の使用料について

## 報告案件

①公共土木施設災害復旧事業の発注状況について



使用料が変わった盆城庵

②農地・農業用施設及び林道施設災害復旧事業の発注状況について

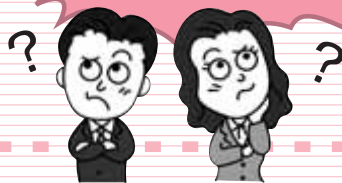
③五城目町防災行政無線（同報系）整備工事について

④五城目町のし尿・浄化槽汚泥の処理の委託について

(石井 光雅)



あれ



# なんとなくだったべが!

平成29年3月定例会一般質問より

問

国・県の施策をフルに活用し、商店街の活性化を

**答** 中心市街地と町の活性化に結び付き取り組みに対し、適合する補助金などを精査し相談に応じていく。

現在

相談に対しては、その都度、関連する商工会などと連絡を取りながら適合する補助金などを精査し対応している。



有効活用される空き店舗

問

首都圏での交流促進のため、東京への人材配置を

**答** 千代田区を活動拠点とした、地域おこし協力隊配置が考えられる。

現在

起業家などとの交流活動が期待できる地域おこし協力隊の配置については、首都圏から五城目町に移住を促進するための有効な手段であり、応募状況などを踏まえ、その対応について検討を行っている。

問

除雪オペレーターは、全員除雪講習会を受講すべき

**答** 29年度より安全管理の面からも、除雪講習会を受講するようにしたい。

現在

今年度は除雪講習会を4業者受講されたこ

とを確認している。未受講の業者については安全管理の面からも、除雪講習会を受講するよう要請している。

問

火災発生時の消防団の連絡体制に、不備があるのでは

**答** メール配信に不備があり、改めて設置業者から再設定してもらい、メール配信のほか電話による連絡体制を強化していく。

団には電話連絡と併せて二重化を図っている。



防災の要、訓練に励む消防団



## リズム体操Go・Go



代表 大原 由紀子さん(畑町)  
(2列目左端)

『仲良く楽しく元気に』

◆どのような会ですか。

**大原** 平成20年、国の健康づくり事業終了後、事業参加者に呼びかけ14名で自主グループ『楽しくエアロビクス教室』として始めました。平成27年『リズム体操Go・Go』に名称変更し、現在会員28名で活動しています。

◆活動内容は。

**大原** 毎週水曜日午前10時～11時30分、広域第二体育館で、講師に五城目町出身の伊藤貴子先生を迎え、ストレッチ、リズム体操を中心に有酸素運動をしています。会費は月2千円で、随時会員募集中です。

◆楽しめることは。

**大原** 休憩時間に水分補給しながら仲間とおしゃべり、情報交換、年に2～3回のお食事は楽しみの一つで『仲良く楽しく元気に』がモットーです。

◆今後の活動は。

**大原** 無理せず、自分の体に合わせて健康寿命を保つためにも細く長く続けていければと思っております。

◆町政・議会への要望は。

**大原** 個々の活動はありますが、広く町民が参加でき、健康寿命につながる町主体の健康づくり教室があればいいと思います。

(荒川 滋)

## がんばってます

『目標は東北大会出場』



五城目第一中学校3年 水泳部  
五十嵐 月衣さん  
(新畑町)

私は、幼稚園の年長から町の水泳教室で水泳を始め、小学校2年生でスポーツ少年団に入りました。はじめは、自由形と背泳ぎしか泳げませんでした。泳ぎを教えてもらい、私の得意種目になりました。4年生の終わり頃から両肩の痛みで思うように泳げず、通院しながら練習してました。そんな中で5年生の夏に全国ジュニアオリンピックに出場する事ができたのは本当にうれしかったです。その後練習場所を県立プールに移し、6年生の小学生選手権で女子の優秀選手に選ばれた時は、本当に驚きました。最近はやさしく思っています。

私は、幼稚園の年長から町の水泳教室で水泳を始め、小学校2年生でスポーツ少年団に入りました。はじめは、自由形と背泳ぎしか泳げませんでした。泳ぎを教えてもらい、私の得意種目になりました。4年生の終わり頃から両肩の痛みで思うように泳げず、通院しながら練習してました。そんな中で5年生の夏に全国ジュニアオリンピックに出場する事ができたのは本当にうれしかったです。その後練習場所を県立プールに移し、6年生の小学生選手権で女子の優秀選手に選ばれた時は、本当に驚きました。最近はやさしく思っています。



前列左端が月衣さん

(椎名 志保)

編集

後記



まぶしい太陽の日差しに今年も冬を乗り越えた達成感がある。

大雪の予測と違い雪が少なく、3月に夏日があったり、めまぐるしい気象の変化を思うと喜んでばかりもいられない。

当町では自然災害が多く、河川の崩壊や農業に甚大な被害が多い。人命被害のない事が変な自信につながり油断も多く、今年の梅雨や真夏の気象・台風の時はどうなるのだろうか。

議員任期の折り返しとなる3年目。

町民の「命と生活」を守るため町と議会の一層の活躍が重要となる。

広報編集委員会全員が再任。分かりやすく期待の持てる紙面作りに努力したい。

広報編集委員長  
畑澤 洋子